

オリンピック・パラリンピック教育全体計画

中央区立久松小学校

学校教育目標 「強く 正しく 豊かに」

- 心身ともに健康で、自立と自立のための強い意志と向上心を持ち、自らよりよい成長を目指す。
- ものを正しく見つけ、正しい判断と行動のできる主体性を身に付ける。
- 豊かな心情や創造性を高め、互いに尊重し合い、思いやりの心を持ち、共生社会の担い手となる。

オリンピック・パラリンピック教育の目標

- ・スポーツを通じた人間育成と世界平和
- ・スポーツに親しみ、知・徳・体の調和のとれた子の育成

オリンピック・パラリンピック教育を通して、国際的な視野を養い、世界の平和に向けて活躍できる人材を育成する。オリンピック・パラリンピックを学ぶことだけではなく、オリンピック・パラリンピックを題材として、世界に広がる多様な価値を学ぶ。

各関係機関との関連

- 国際オリンピック委員会の目標や取組
オリンピック憲章（5つの教育的価値）
 ・努力する喜び ・フェアプレイ
 ・他者への尊重 ・卓越さの追及
 ・身体、意志、心の調和
- 日本オリンピック委員会の目標や取組
 ・オリンピック・パラリンピック教育推進校
 ・一校一運動 【研究開発校】
 ・1日校長先生
 ・夢・未来プロジェクト
- 中央区教育委員会の目標や取組
 ・オリンピック・パラリンピック学習
 ・中央区版一校一国運動
 ・ハートフルスポーツ ・体力向上

本校の教育活動との関連

- オリンピック・パラリンピック教育で求めている「スポーツを人類の調和のとれた発達に役立てること、人間の尊厳保持に重きを置き、平和な社会を維持すること」は、本校の教育目標「強く 正しく 豊かに」を教育活動として具体的に取り組むにあたり、重要で効果的な内容である。
- 平成25・26年度中央区教育委員会研究奨励校として、研究主題「豊かな心と健やかな体の育成」を掲げ、研究・実践に取り組んできた。オリンピック・パラリンピック教育の内容は、これまで取り組んできた内容（自ら課題を発見し、協働的学習で解決する）と軌を一にするものである。

重点目標と主な取組

研究主題「豊かな心と健やかな体の育成」の推進・充実を図るために、全教育活動を通じたオリンピック・パラリンピック教育を実践す

重点目標

主な取組

教育的価値

人権・平和

○オリンピック・パラリンピック教育の理念などの学習を通して人間の尊厳保持に重きを置き、平和なよりよい社会の構築を目指す態度と豊かな心の育成を図る。

○人を大切にする思いやりの心と平和な社会を築こうとする態度を養うために、オリンピック・パラリンピックの歴史や意義、理念等を学年に応じて学ぶ。
 ○共生社会を築き、互いに支え合って生きようとする態度を養うために、アイマスク体験、車いす体験等を行う。様々な立場に立って物事を考えることのできる力を育む。

人権教育
平和教育
障害者理解
 相互理解・共生

国際

○オリンピック・パラリンピックに参加する国や地域の文化や歴史等を行事や授業で学習するとともに、国際教育の充実を図り、豊かな心の育成を推進する。

○他国の文化や習慣のよさを知り多様性を尊重するとともに日本の文化を見直し、日本に誇りがもてる児童を育成するために、国際教育を位置付け、オリンピック・パラリンピックに参加した国や地域の文化や歴史などを直接的な交流を取り入れて学習する。スカイプの活用による外国との交流学习を進める。
 ○「久松しぐさ」の充実を通し、他者を尊重する態度を育む。（おもてなしの心、礼儀含）

国際教育
 自国文化理解
 多文化理解
 自己表現力
 相互理解・共生

健康

○オリンピック・パラリンピアンと児童との直接的な交流を通して、運動やスポーツの魅力と人間のもつ可能性を学び、豊かな心と健やかな体の育成を充実する。

○健康・体力の増進に向けた体育授業等日常的な実践を推進・充実するとともに、障害のある人や関係者との交流を通して思いやりのある心・豊かな心の育成を図るために、オリンピック・パラリンピアンと直接的に交流する。
 ○生涯にわたって運動・スポーツに興味・関心を持ち、健康的な生活を送る態度の基礎を培うために、オリンピック・パラリンピアンと児童との直接的な交流を保護者にも公開する。

健康教育
福祉教育
キャリア教育
人権教育
環境
 相互理解

横断的な教育活動（各教科等の年間指導計画への位置付け）

【人権教育】

- ・ 偏見や差別をなくし、人権尊重の精神を培い、個人の多様性を認識できる児童を育てる。
- ・ 社会的に弱い立場にある人々に対する理解を深め、学校や地域社会の一員としての連帯感をもとうとする児童を育てる。

【平和教育】

- ・ 世界の国々や民族のことを知り、自分にできることを考え、互いに支え合って平和な社会を築いていこうとする態度を育成する。

【国際教育】

- ・ 日本人としての自覚と誇りをもち、主体的に生きていく上で必要な資質や能力の基礎を養う。（コミュニケーション能力の育成）
- ・ 豊かな人間性を核に、国際社会を生きる豊かな国際感覚を育てる。

【健康教育】

- ・ 自分を大切にする気持ちを日常の中で育みながら、自分の生活と健康の関係についての理解を深め、健康の大切さを実感できるようにし、自主的・自発的な健康づくりへの意欲や実践力・自己管理能力を育成する。

【キャリア教育】

- ・ 自己及び他者への積極的関心の形成・発展・身の回りの仕事や環境への関心・意欲の向上

【福祉教育】

- ・ 人間尊重の精神を基盤に、協力してよりよい生活を築こうとする能力や態度を育成する。

【環境教育】

- ・ 主として健康に関わる環境問題に目を向け、その解決と環境保全について主体的に関わることのできる態度を育成する。

家庭・地域社会・各機関との連携

- トップアスリート（オリンピック・パラリンピアン）によるスポーツ教室（見学・参加の推進）
- 地域行事・スポーツ大会への参加（わんぱく相撲・はねつき大会への参加）

校内環境の整備

- オリンピック・パラリンピックに関する掲示
- スポーツ教室に関する掲示

教科等 主体的・対話的で深い学び（効果的な小集団活動の充実を通して）

【国語】

- ・ 「日本橋かるた」で伝統遊びに親しみ、地域のことを知る。
- ・ 「話す・聞く」の単元で障害者理解教育、国際理解教育の充実を図る。

【社会】

- ・ 地域の伝統や文化に触れ、日本ならではのよさについて知る。
- ・ 世界の国や地域と日本とのつながりについて考え、国際理解を図る。

【音楽】【図工】

- ・ 外国及び自国の伝統や文化を感じながら歌唱や演奏、創作活動等に取り組み、それぞれの国のよさやその多様性について知る。

【体育】

- ・ 生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を培う。
- ・ 運動に親しむ資質や能力の育成、健康の保持増進、技能・体力の向上を図る。

【道徳】

- ・ 人と人の心のふれ合いを大切にし、豊かな心をもった児童を育成する。

【英語活動・外国語活動】

- ・ 進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【総合的な学習の時間】

- ・ 自ら課題を見付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協働的に取り組む態度を育成する。
- ・ 人との交流や体験活動を通して、他者や自分と異なる考えなどについて知る。